

## 第 73 回日本医学検査学会の開催にあたり



一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
代表理事 会長 宮島 喜文

会員の皆様には、日頃から一般社団法人日本臨床衛生検査技師会の活動につきましてご理解、ご協力を賜りこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、令和 6 年元旦の夕刻、能登半島を震源とする大地震が発生し、甚大な災害を被りました。お亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。被災地の 1 日も早い復興・復旧を願っております。

ところで、本学会は一般社団法人石川県臨床検査技師会が担当し、学会テーマは「命を見つめ・未来を拓く One step ahead 臨床検査」と掲げ、令和 6 年 5 月 11 日（土）・12 日（日）の両日、石川県金沢市での開催となります。大地震の直後にはこの開催を危ぶむ声もありましたが、学会会場等は被災も軽微で、ほぼ当初の計画通り学会運営が可能であることが判明し、計画通り開催することになりました。その陰には、自らが被災に遭われたにも拘わらず、被災地を奔走して回られた油野学会長、被災された病院検査室の技師の方々の不安や困窮の心の声を親身になって寄り添った長原実行委員長、そして DVT 検診の陣頭指揮と調整を一手に引き受けて頂いた南部支部長、そして、それを支えて頂いた会員の皆様のご労苦に深く敬意を表し感謝申し上げます。本学会が、少しでも地元石川県民の皆様を元気づけ、復興の支援となるような学会になるよう取り組んで参ります。

学会内容もシンポジウムなど企画ものが 46 企画、一般演題数は 550 演題を超え、機器等の展示会においても 56 社からご出展をいただき、昨年より増して盛会に開催できることとなりました。改めてご協力いただきました会員・賛助会員、実行委員会の皆様にご感謝申し上げます。

特に科学技術の進歩が目覚ましい今日、新たな技術を採用して開発された検査機器や試薬の紹介に注目したいと思います。学会テーマ「One step ahead 臨床検査」にもありますように、臨床検査が社会をリードする、そんな未来を皆さんと共に創造したいと思います。

本学会は我が国における臨床検査技師の唯一の学術・職能団体である当会が年 1 回主催する全国規模の学術集会・展示会として、都道府県を持ち回りで長年開催してきました。近年、コロナ禍の経験や情報化時代の到来から新たな学会運営方式を模索する動きも出てきております。

今回の開催では本学会の役割と意義を再認識し、今後の学会の方向性を探る機会にもなります。ご参加いただきました会員・賛助会員の皆様方には、従来通り活発な討議・意見交換をご期待申し上げます。

末筆ではありますが、本学会に参加された会員・賛助会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念するとともに、本学会の企画、運営にご尽力いただきました油野友二学会長を始め一般社団法人石川県臨床検査技師会の皆様にご厚くお礼申し上げます。